

クラシカルホメオパシー京都（CHK）へのご入学、おめでとうございます。
はじめに皆さんにお願いしておきたいことが4つあります。

1. 基本をマスターすることを大切にしてください。

ホメオパシーでは、時々奇跡的とも思われる治癒が起きます。

それを起こすのは、人が持つ生命力ですが、ホメオパシーを基本に忠実に活用したら、それは起きるでしょう。ホメオパシーとは、人のポテンシャルを引き出す療法と言って良いでしょう。

皆さんが、将来、実践した時にお気づきになるでしょう。

基本とは、例えば200年以上近前にハーネマンが著した『オルガノン』や100年前のマテリアメディカなどに記されたことに忠実であるほど、素晴らしいことが起きます。もちろん新しい理論も大切ですが、古典は、今もなお生きていることに驚かれるでしょう。

2. ホメオパシー的健康観（世界観・人間観）を身につけて下さい

私たちが、ホメオパシーを学ぶ際、「病名」や「検査数値」より、「個々人の自覚症状」や「その人まるごと」など、全体観やクオリティー（質的なもの・ダイナミックさ）を重視します。人は、常に環境に適応する能力を持ち、同時に周りから影響を受けつつ変化し続けるダイナミックな存在です。「いのちの探求」「人と自然の関わりからの学び」こそ、私たちが向き合うテーマです。とりわけ、ホメオパスにとっての判断基準になるのが、「健康観」です。何事に対しても「健康的な姿とは何か？」を考える癖を付けて下さい。

3. 全体を観る

ホメオパシーを実践して行く上での基本姿勢は、「全体」を観ることです

私たちが大切にしている「生命力」は目には見えませんが、「ダイナミック（動的）」に変化し続けています。まるで炎のようでもあり流れる水のようでもあります。よく観察するとその人の言葉や話し方・表情・服装・髪型・仕事・趣味など、至る所に表現されています。全体をつぶさに観たら、意外に簡単に理解出来るものです。何事も全体を見る癖をつけてみて下さい。ホメオパシーでは人間の内面の動的な乱れを観察することが大切ですが、広く長く深く「全体」を観て行くことができれば、おのずから病の本質が観えてきます。

4. 学校とは生徒が創るものという姿勢で臨んで下さい

みなさんの先輩達（卒業生たち）は、それぞれに独自に活動を始めています。

数年に一度のペースですが、時々、卒業生の有志にお話ししてもらいます。一人として同じスタイルで活動している方はおられません。皆さん、自分の人生を大切にしながら、独自のホメオパシーを実践されています。この姿勢は、在校生の時期から始まっています。

CHKでは、登山に例えるなら登る人はみなさん、私達講師はガイド役のイメージで向き合うように心がけてきました。ガイドは、危険な目には遭わせないようにするのが役割です。勇気をもって、皆さんご自身で道を切り開いて行って下さい。

（※後ほど在校中のルールについて2点お伝えします）